

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-4



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。コメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。

今回は日本の農業や工業の発展を支えるため設立された兩大学の学食めぐりです。メニューや値段は訪問時のものです。
右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。最寄り駅は代表例です。

〔東京農業大学〕 世田谷区桜丘 1-1-1

最寄駅 小田急線 経堂駅

明治時代北海道開拓に携わった**榎本武揚**が「今後の日本には国内農業の発展が不可欠、農民教育が必須」と考え、明治 24 年（1891 年）**徳川育英会育英館**に**農学校**を設立、明治 26 年（1893 年）農学科が独立し、**東京農業学校**となりました。初代学長 **横井時敬**は「**実学主義**」を重視し、現在の教育理念になっています。

「人物を畑に還す」・「農業後継者や地域社会の担い手の育成」を最大の目標にしています。

大正 14 年（1925 年）大学設置。現在、農学を専門に扱う日本での唯一の大学とのこと。昭和 21 年（1946 年）渋谷の土地を青山学院へ売却し、現在地へ移転しています。

経堂駅からは徒歩で約 15 分ですが、渋谷駅西口から②バスで約 30 分「農大前」下車です。

正門から左の道を行くと、無人野菜スタンドがありました。学校の方の話では不定期販売（主に木曜日）で**無農薬野菜**のため、すぐ

に売り切れるとのこと。これは食べ物の大学グッズですね。



学食は広場脇の道を進み、百周年記念講堂の1Fに大学生協の「カフェテリア グリーン」（営業時間 10時30分～20時）があります。丼物・麺類やカフェテリア方式でおかずも選択できます。



メニューに「迷ったらこれ!」と表示のヒレカツカレー410円



をいただきました。
隣にある「レストラン
すずしろ」は「本学関係
者以外のご遠慮下さい」
の看板がありました。

大学前には「馬事公苑」(2020年東京オリンピック・パラリンピック馬術競技使用のため工事中)、その手前に東京農業大学の「食と農の博物館」があり、入場無料です。建物設計は新国立競技場を設計した隈 研吾氏とのこと。隣にある進化生物学研究所の「バイオリウム(生き物の空間)」とは建物内で繋がっていて見られます。

建物前にいるのは「ナレース大王鶏」でタイのアユッタヤー王朝19代目ナレースワン大王(1555年~1606年)に因んだもので、大王の名にちなんだ「カイ・ナレースワン」とのこと。大王はビルマにとらわれの身の幼少期に「鶏闘」でビルマ副王と戦況を占い、彼の鶏が勝ったこと、後にビルマから独立させたことから「鶏闘」はナレースワンの象徴となったそうです。願いがかなうと鶏闘の置物を寄進、縁起が良いものとされています。(現地の説明文より)



食と農の博物館



バイオリウム



「食と農の博物館」内にもランチが食べられるカフェがありました。農大パンケーキ(農大ハチミツ・農大ジャム、アイスクリーム付) 580円はお洒落な味でした。



さすが食の農大、カフェの売店には食べ物の大学グッズが満載。



「農大の水」や東京農大「カムカムドリンク（ビタミンC）」も販売。

そういえば箱根駅伝の応援で見せる「大根おどり」は東京農大の伝統です。

上段には、ほのかな切干大根の味 クッキー「大根おどり」、「農大チーズケーキ」「農大サブレ」
下段には羊羹「東京農大」3本・5本・8本入りです。



「東京工業大学」 目黒区大岡山 2-12-1

最寄駅 東急目黒線/大井町線 大岡山駅

工業立国を模索する明治政府が専門技術の素養を備えた優れた**職工長・工業教員の養成**を目的に明治 14 年(1881 年)設立した最初の工業教育機関の**東京職工学校**が母体、明治 23 年（1890 年）東京工業学校、明治 34 年（1901 年）東京高等工業学校と改称、大正 13 年(1924 年)蔵前から現在地に移転。昭和 4 年（1929 年）東京工業大学へ昇格。「世界最高の理工系総合大学の実現」を目標に「**国際的リーダーシップを発揮する創造性豊かな人材の育成**」を図っています。駅の中央改札を出ると正門です。すぐ右手にある「**東京工業大学博物館・百年記念館**」（写真下左）にはその歴史が展示されています。入館無料。最初は染色、窯業も学んでいたと初めて知った寅次郎です。写真下右は正門先にある図書館です。



図書館の先を右に行くと「第1 食堂」(写真下左)があります。
(営業時間 11 時~14 時)



東工大パワー丼 453 円
の名に魅力を感じました
が、前に並んだ東工大生の
お勧めで、東工大唐揚げ丼
ガーリック味 486 円(写真
左)にしました。
ほうれん草ゴマあえ 64 円
は別注文です。支払いはレ
ジで行います。

正門から桜並木の正面は本館です。関東大震災でこの地に移転した際に、大地震に耐える強固な建物を作ったそうです。建築も専門ですね。本館内の右側に「第2 食堂」がありました。



8 時~おかず、ごはん、
みそ汁のカフェテリア
スタイルです。

11 時からは第1 食堂と
同じメニューです。

第2 食堂の手前の生協購買部に食べ物大学グッズがありました。「東工大瓦せんべい」と「東工大クッキー」です。

「東工大饅頭」と「東工大カステラ」は日持ちがしないため、大学の行事やイベント時（入学式・卒業式・オープンキャンパス・学園祭等）にしか、入荷しませんとの但し書きがあり。



本館に向かう桜並木の左側に手島精一先生像がありました。日本では工業教育の父とも呼ばれ、東京工業大学前身の校長です。幾度の洋行で近代的工業教育の必要性を痛感し、その実現に尽力された方です。



次回は 東京の学食めぐり-5 です。

平野 寅次郎 拝